



日々の練習では、常に試合を意識し、集中して取り組みました。このような結果を残せたことをうれしく思います。でも、これはあくまでも通過点。目標は全国大会で好成績を残すことです。1球1球を大切に、東北大会でも優勝したいと思います。

**卓球女子（団体）
優勝
東水沢中学校**

インタビューに答える安倍英恵主将（3年）



県優勝を果たした東水沢中女子卓球部のメンバー



東北大会に向けて練習にも熱が入る

今回の大会に向けて、技を正確に掛けることができるよう日々の練習に取り組んできました。決勝進出した時に、初めて優勝を意識しながら試合に臨みました。優勝できてうれしいです。次に行われる東北大会と全国大会では、一つでも多く勝ちたい。できれば今練習している背負い投げを決めたいですね。

**柔道女子・個人 40^{kg}級
優勝
佐藤 瑠夏選手
（江刺第一中・2年）**



ダイナミックな跳躍。本番を意識しての練習

この県中総体では、1^m80を跳び、優勝することができました。練習の時から、自分の目標でもある1^m85を意識していました。東北大会やジュニアオリンピックなど、次のステージでは、自己ベストを残して1番になりたいです。

**陸上競技・走り高跳び
優勝
佐藤 真選手
（東水沢中・3年）**



—— 第60回 県中学校総合体育大会 ——

**栄冠を手にした
選手の横顔を紹介**

県中学校体育連盟の主催で、7月20日から22日までの3日間「第60回岩手県中学校総合体育大会」が行われました。それぞれの競技において、熱戦が繰り広げられ、市内中学校からも多くの選手が入賞しました。今回は、県で優勝した選手にインタビューをしてきました。優勝に至るまでの思いや、今後の大会に向けての抱負などを聞き、選手たちの横顔に迫りました。



練習では、比較的安定している走り高跳びとハードルを中心に取り組みました。常に「県1位」を意識していたことが、いい結果につながったと思います。県の四種競技記録保持者は、水沢南中の先輩です。卒業までに、その記録を越すことが今の目標。東北大会では自己ベストを更新します。

**陸上競技・共通四種競技
優勝
郷右近 駿太選手
（水沢南中・2年）**



東北大会に向けて練習に励む郷右近選手（先頭）



東北大会に向け練習に励む両選手



まずは、基本的なことを確実に、そしてファーストサーブを決めることを心掛けて練習してきました。地区大会では2位。正直、県で優勝できると思っていませんでした。県1位として東北大会に出場しますが、それに恥じないプレーをして全国大会を目指したいです。

**ソフトテニス女子（個人）
優勝
高橋 萌々花選手（右）
高橋 紅羽 選手（左）
（南都田中・ともに2年）**

